

春日社
大々神樂

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 2 6



我々止家業安穩日々交安く是は神の
 加護の功に難く而代と悦の功
 當社の神の功多し而安んじし神
 と奉り神の功多し而安んじし神
 下奉り神の功多し而安んじし神
 一春日宮神前におては神の功多し
 奉りし神の功多し而安んじし神
 而行ふは神の功多し而安んじし神
 一春日神科
 白根寺神前

而供物

流儀

五重

節

五連

斗行

五荷

石の當り且社大明神に奉儀

而供物而後毎年以て奉儀

一各々而加入限りし奉儀

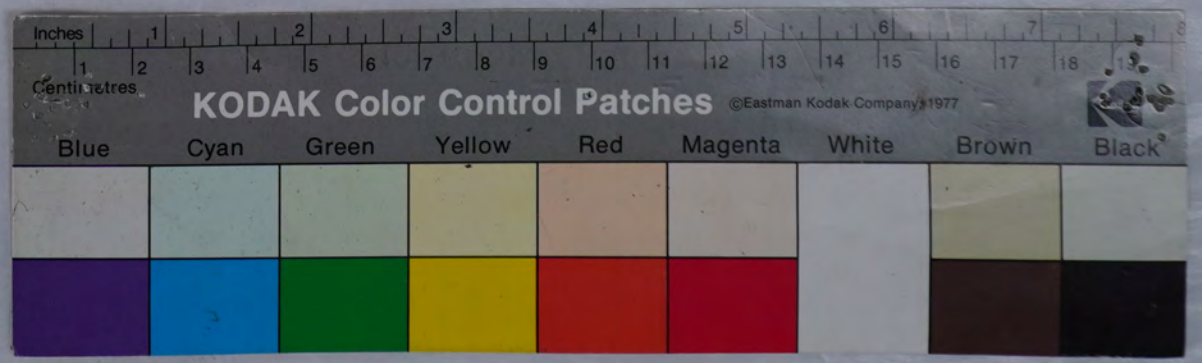
近衛殿下儀而後而祈りし奉儀

而祈りし奉儀

而祈りし奉儀

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 2 6



千原安永四十年

南部

以藤清元

世信人

坂井丹波

高木清次郎

細川半富

市金平七

山本文次郎

松物平島

友金五三郎

扇金三郎

細川半中

越前守四郎

中川半次郎

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 2 6



